

Panasonic

インテグレートCD・MD・DSPレシーバー



取扱説明書

品番

CQ-PY2002D/WD



保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

特長

2DINにCDプレーヤー・MDプレーヤー・FM/AMチューナー・CD/MDチェンジャー
コントロール機能、高音質41W x 4chパワーアンプを搭載

CD-R/RWディスク対応*1

「CD-R/RWディスクのご使用について」(P.32ページ)をよくお読みください。

MDLP(ロングプレイ)*2、MDグループ機能に対応

異なった録音モード(2倍長・4倍長・通常)の曲が混在しているディスクを再生できます。
グループ機能にも対応しているため、聞きたい曲(グループ)をスピーディに選べます。

タイトル表示機能*3

MDディスク名・グループ名(グループ登録されている場合)・トラック名をスクロールさせて表示
できます。

高輝度14バンドのスペアナ表示

多彩なサウンドコントロール機能を搭載(P.22、26、28ページ)

音場創生 : 7モードのSPACE(スペース)機能

音質調整 : HEQ(ヒューマンイコライザー)、GEQ(グラフィックイコライザー)

重低音再生 : SUPER BASS(スーパーベースコントロール・サブウーファー)、
SDBB(スーパーダイナミックバスブースト)

システムアップ用端子を装備

外部音声入力端子(AUX)付き(P.22、41ページ)

テレビ(別売)のステレオ音声等を本機で聞くことができます。

外部アンプと接続できるプリアウト端子付き(P.41、42ページ)

お知らせ

接続可能なCD/MDチェンジャーは、下記の機種です。(2002年7月現在)

CDチェンジャー : CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205 / 1203 D

MDチェンジャー : CX-MD6D

*1 : 本機は、MP3に対応していません。

CDチェンジャーは、機種によってCD-Rに対応していないものがあります。また、ディスクによっては
正常に再生されない場合もあります。CD-RW、MP3には対応していません。

*2 : MDチェンジャーは、MDLPに対応していません。

*3 : 本機およびCDチェンジャーは、CDのタイトル(CDテキスト)を表示できません。

CQ-PY2002DとCQ-PY2002WDの相違点について

CQ-PY2002DとCQ-PY2002WDは、外装および前面(表示)パネルの色が異なります。
操作・性能等は同一です。

もくじ

ご使用前に

特長	2
安全にお使いいただくために	4
使用上のお願い	8
付属品・添付品の確認	8
別売りモコンについて	9
各部のなまえとはたらき	10

使う

電源を入れる・基本操作	12	
電源を入れる/切る	音量を調整する	時計を調整する
音源(ソース)を選ぶ	一時的に音量を下げる	
表示を切り替える		
ラジオを聞く	14	
CDを聞く	16	
MDを聞く	18	
チェンジャーでCD/MDを聞く	20	

使いこなす

音場設定・便利な機能	22
音場を設定する(スペース)	スペアナ表示を切り替える(スペアナパターン)
交通情報などをボタン一つで受信する(ダイレクトメモリ)	スペアナ表示をアレンジする(スペアナリバース)
外部機器の音声を聞く(AUX)	
いろいろな設定と調整	26
音質調整	26
ユーザー設定	30

必要なときに

ディスクの取り扱いについて/お手入れのしかた	32
故障かな!?	34
配線・取り付けの前に	38
取り付けかた	39
配線のしかた	40
仕様	43
アフターサービスについて	裏表紙

ご使用前に

使いかた


必要なときに


安全にお使いいただくために

必ずお守りください


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。


 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告


運転者は走行中に操作をしない
また、画像・表示を注視しない

 **禁止** 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。


取り付け・アース配線等に、保安部品を絶対に使わない

 **禁止** 保安部品(ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど)のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。
説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

DC12V \ominus アース車で使用する


 本機はDC12V \ominus アース車専用です。DC24V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、
バッテリーの \ominus 端子を必ずはずす


 バッテリーの \ominus 端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

警告


故障や異常のまま使用しない

 **禁止** 万一、故障(画像が映らない・音が出ないなど)や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど)が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に相談してください。
そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。


必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

 規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に依頼してください。


コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないよう引き回す

 ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。


指定に従って設置・配線する

 説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。


分解・修理、および改造をしない

 **分解禁止** 分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。


電池は乳幼児の手の届かないところに保管する

 事故の原因になります。
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない

 **禁止** エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

リモコンを放置しない

 **禁止** 運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

⚠ 注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかり固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

水のかかる場所、湿気や埃の多い場所で使用しない



発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。
特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。

機器内部に異物を入れない



内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。

可動部やディスク挿入口に手・指を入れない



手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。
特に乳幼児にご注意ください。

コードを破損しない



禁止

断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。
車体やねじ・可動部（シートレールなど）への挟み込みで破損しないように引き回す。
傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

本機の通風孔や放熱板をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因になることがあります。

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になることがあります。

特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない



禁止

特殊形状（ハート型・八角形・カード型など）のCDや、プロテクトフィルム・スタビライザーなどのCDアクセサリを使用すると、故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCDは使用しない



禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。
特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RWは、使用しないでください。

⚠ 注意

電池は正しく扱う



破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。
指定の電池以外は使用しない。
⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れる。
使いきった電池は、すぐに交換する。
リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。
電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。（ビニール袋に入れる、テープなどを巻く）
著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。
（窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど）

電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

使用上のお願い

他の機器と接続する場合は

各機器の取扱説明書も併せてよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

携帯電話を使用する場合は

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音を生じることがあります。できるだけ本機から離してご使用ください。

本機の取り扱いについて

車載用以外には使用しないでください

車載用以外（例えばレジャーポートやアウトドアなど）に使用すると、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

免責事項について

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

商品に添付の保証書は、当該商品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象になりません。

付属品・添付品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

付属品

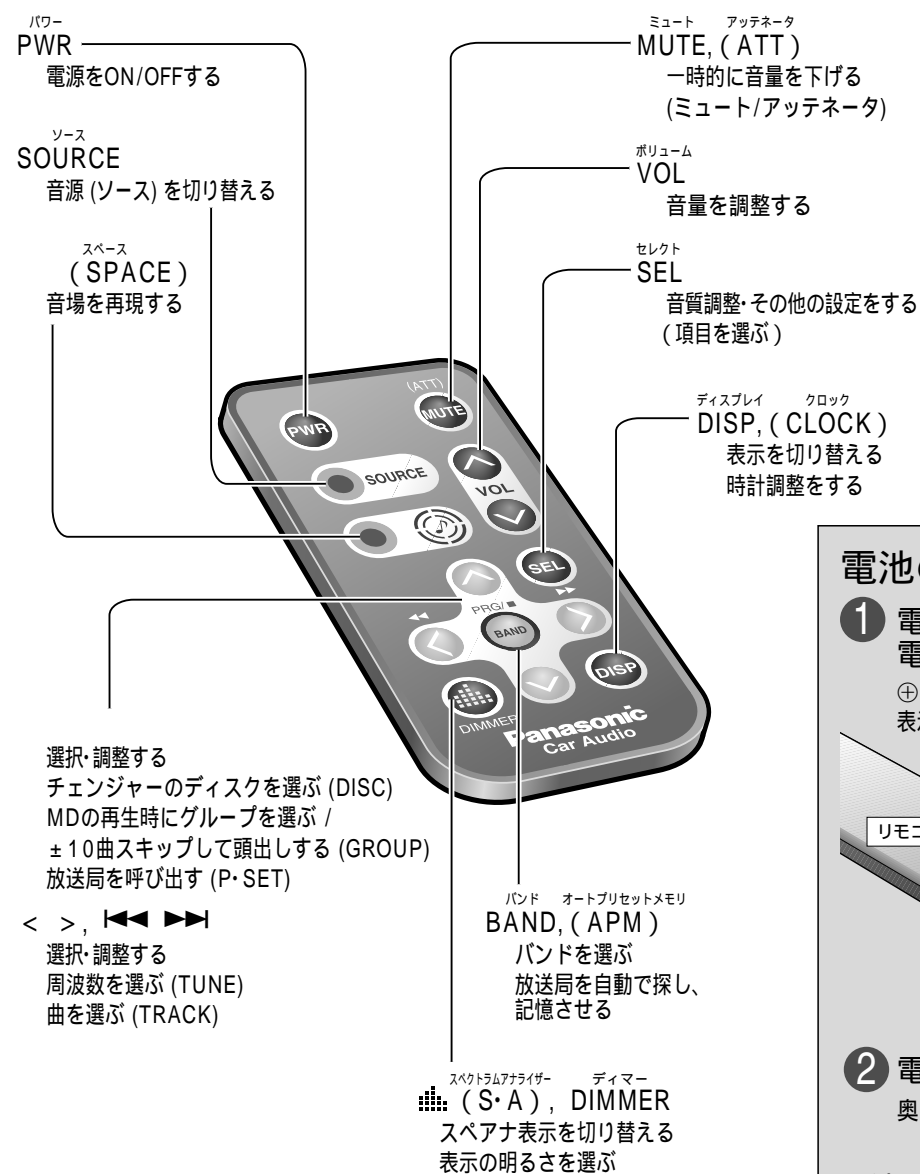
配線・取り付け用部品（[P.38](#)ページ）

添付品

取扱説明書（本書） 保証書 お客様ご相談窓口一覧表

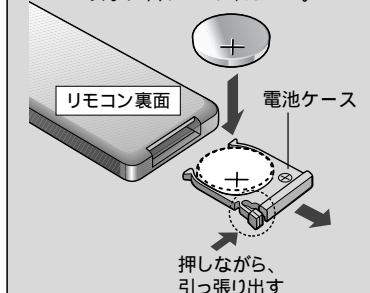
別売リモコンについて

本機をリモコンで操作したい場合には、CA-RC55D（別売）をお買い求めください。



電池の入れかた

1 電池ケースを出して、電池をのせる
⊕⊖の向きを、電池ケースの表示に合わせてください。



2 電池ケースを入れる
奥まで挿し込んでください。

電池について

使用電池
パナソニック リチウム電池 (CR2025)

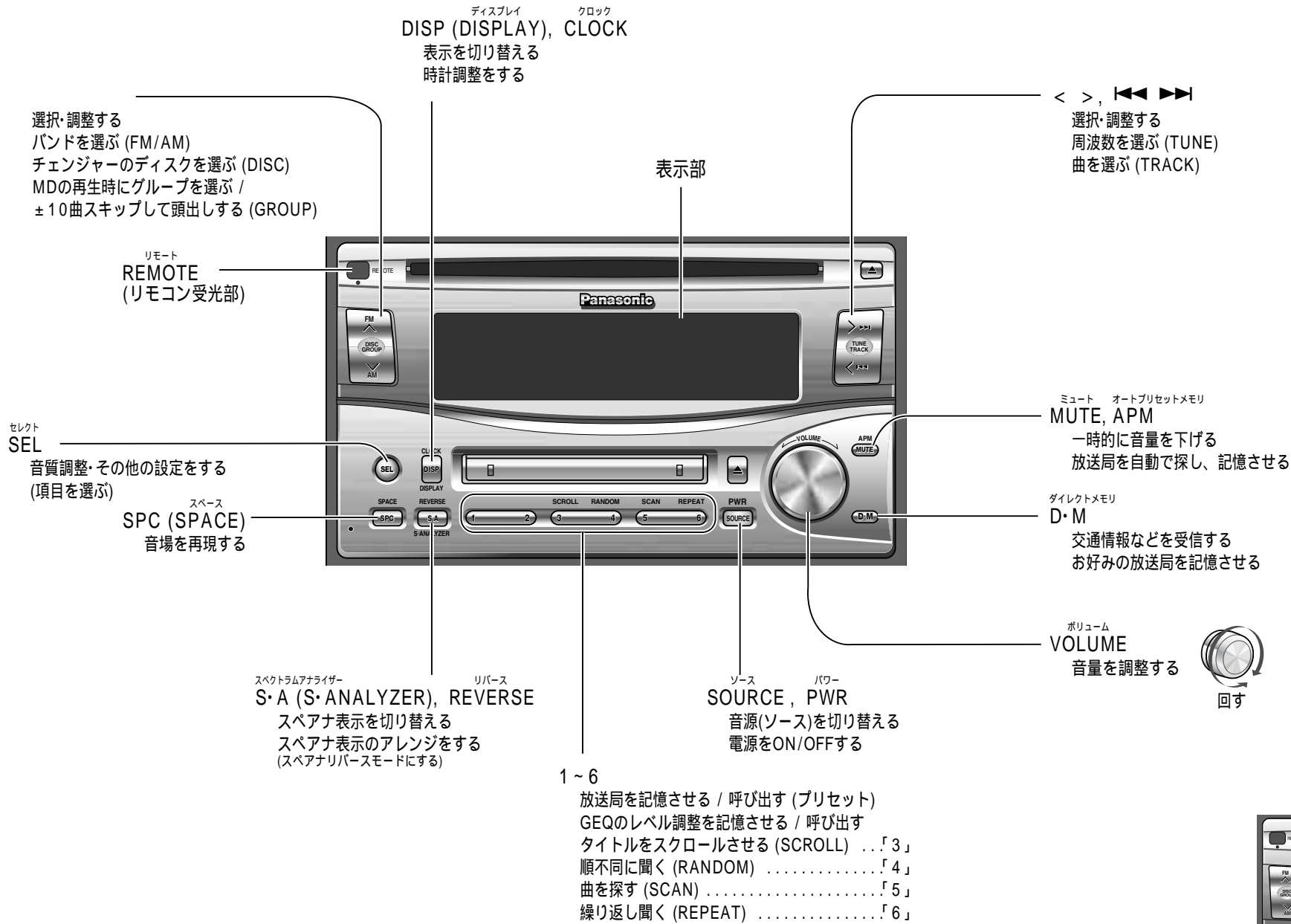
電池寿命
通常の使用状態 (常温時) で約6ヶ月

取り扱いの注意書き ([P.7](#)ページ) をよくお読みください。

本体のリモコン受光部へ向けて、操作してください。

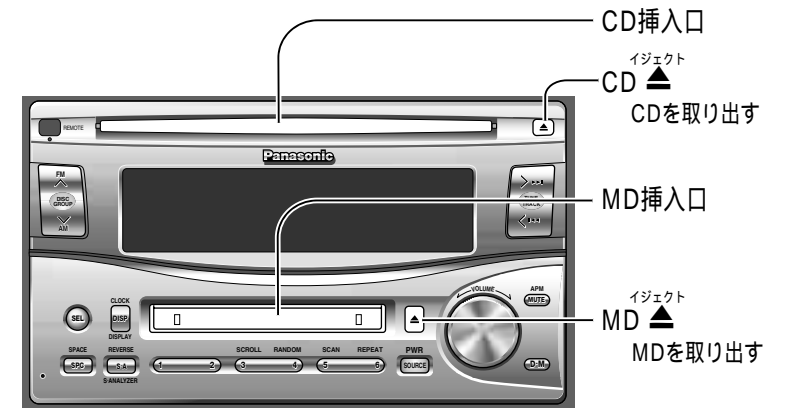
ご使用前に

各部のなまえとはたらき



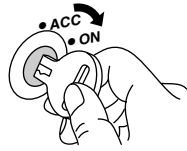
后面的端子については、
「配線のしかた」をご覧ください
(P.41ページ)

ご使用前に



電源を入れる・基本操作

準備 車のエンジンをかける
(「ACC ON」でも可)



電源を入れる/切る

PWR SOURCE ON (入): 押す
OFF (切): 1秒以上押す

リモコンは
PWR を押すごとにON/OFF

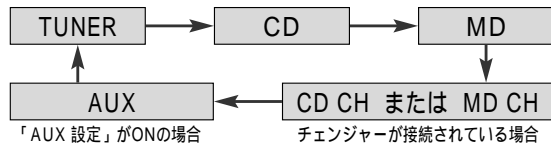
はじめて電源を入れたときは
デモンストレーションが表示
されます。**CLOCK DISP** を押して、
解除してからご使用ください。表示を切り替える
再度、デモンストレーションを表示させるときは...
電源を入れるときに、ボタンを2秒以上押してください。

お知らせ

電源が切れているときにディスク (マガジン) を入れると電源
が入り、再生が始まります。

音源 (ソース) を選ぶ

PWR SOURCE を押して、切り替える



ディスプレイ
DISP (DISPLAY), CLOCK

お知らせ

外部音声入力 (AUX) を使用しない場合
は、スキップさせることができます。
(※30ページ)

音量を調整する



を回す



調整範囲: 0~40

モードごと (ラジオはAM・FMごと) に記憶されるので、
モードを切り替えると音量も変わります。
(インテリジェントボリューム)

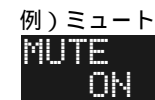
一時的に音量を下げる (ミュート/アッテネータ)

APM MUTE を押す (再度押すと、解除)

音量の下がりかたは、設定によって異なります。
初期設定: MUTE (ミュート/アッテネータ設定※30ページ)

ミュート : 音量が0になる (消音)
アッテネータ : 音量が10ステップ下がる (約1/10)

ミュートおよびアッテネータがONのとき
は、「MUTE」インジケータが点滅します。

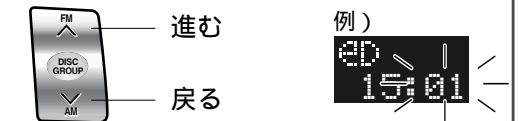


時計を調整するには

1 **CLOCK DISP** を2秒以上押す (例)
時間表示が点滅します。
(初めて調整するときには「0:00」が点滅します)

2 時/分を選び、調整する
「分」を調整する場合
分表示が点滅します。
「時」を調整する場合
時表示が点滅します。

調整する (24時間表示)



3 **CLOCK DISP** を押して時刻を決定する
秒が0になり、時計が動き始めます。

お知らせ

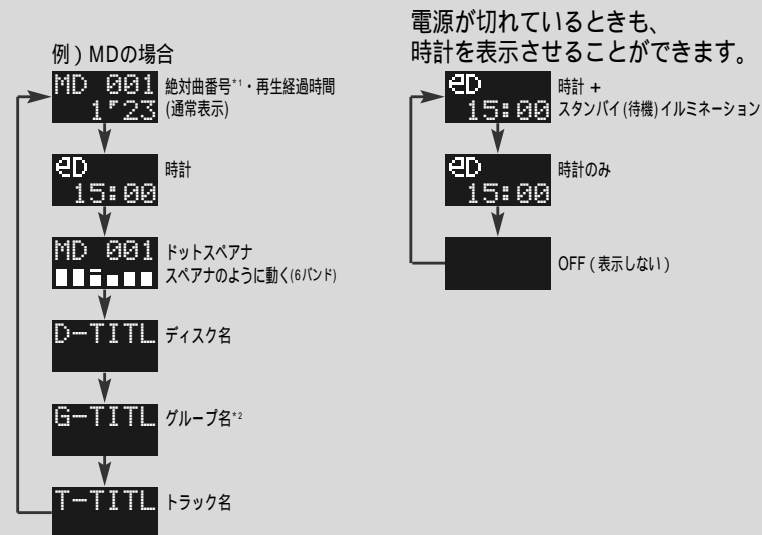
電源が切れているときは、調整できません。

表示を切り替える

CLOCK DISP を押す

お知らせ

モードごと (ラジオはAM・FMごと) に記憶されます。
表示は、ソースごとに異なります。
時計表示について
・未調整のときは「ADJUST」と表示されます。
・表示のパターンを選べます。
(※30ページ)



- *1 絶対曲番号
ディスク内全てに対する曲番号が表示されます。
相対曲番号 (再生中のグループ内に対する曲番号) は
表示されません。
- *2 グループ名
グループ名が入力されている場合のみ表示されます。
MDチェンジャーは、グループ名を表示できません。
「OUT OF GROUP」と表示されたときは...
再生中の曲がどのグループにも属していません。
グループ名が記録されていないときは...
先頭曲番号 - 最終曲番号が表示されます。
例) 13 - 28

タイトル表示について

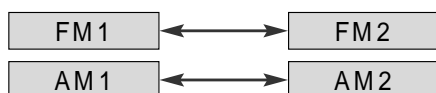
英数字/カタカナなどが、6文字まで表示できます。
(スクロール時は最大48文字まで)
漢字/ひらがな/一部の記号や文字 (言語)などは、表示
できません。
CDテキスト (ディスクに記録されているタイトル情報)
は、表示できません。
「NO TITLE」と表示されたときは...
タイトル情報が記録されていません。

ラジオを聞く



1 **PWR SOURCE** を押して、**ラジオ (TUNER) モードにする**

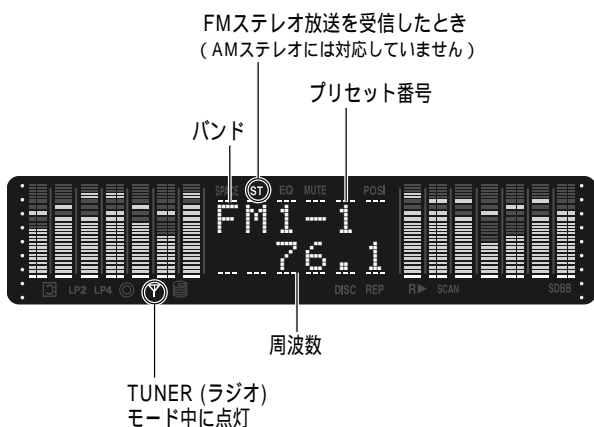
2 **DISC GROUP** を押して、**バンドを選ぶ**



リモコンは **BAND** を押して切り替えます。
FM1 FM2 AM1 AM2

3 **TUNE TRACK** を押して、**放送局を選ぶ**

自動選局(シーク)したいときは
0.5秒以上押し続ける
はなした時点から選局を始め、受信すると止まります。



放送局を記憶させるには

各バンド (FM1、FM2、AM1、AM2) ごとに、放送局を最大6局まで記憶させることができます。

一つずつ記憶させる (プリセットメモリ)
本体のみ

バンドと周波数を選び (左ページ)

REPEAT **1** ~ **6** を2秒以上押す (プリセットボタン)

周波数が1回点滅し、受信している放送局が記憶されます。



受信状態のよい順に記憶させる (オートプリセットメモリ)

バンドを選び (左ページ)

APM MUTE を2秒以上押す

リモコンは **BAND** を2秒以上押すと、記憶されます。

受信状態のよい放送局が、プリセット番号1から順に記憶されます。

終了すると... 記憶された放送局が約5秒ずつスキャンされます。

本体の **REPEAT** **1** ~ **6** を押して、放送局を選んでください。 (プリセットボタン)



リモコンは **UP** を押すと、プリセット番号を選ぶことができます。

お知らせ 記憶された放送局は、プリセットの操作をするたびに更新されます。

放送局を呼び出す (プリセット呼び出し)

バンドを選び (左ページ)

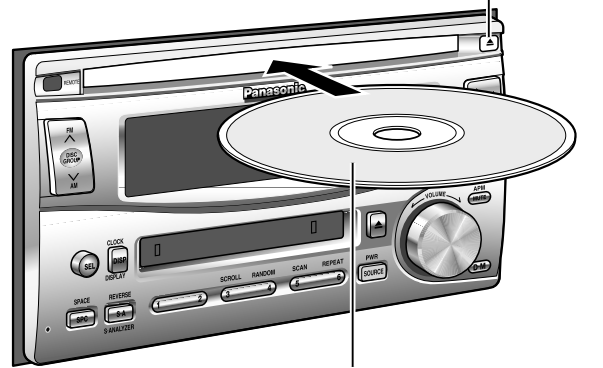
本体の **REPEAT** **1** ~ **6** を押す (プリセットボタン)

リモコンは **UP** を押すと、プリセット番号を選ぶことができます。

CDを聞く

CDを入れると再生が始まります。

CDが入っていないことを確かめてから、
入れてください。
CDの挿入口に、MDを入れないでください。



タイトル面を上
シングルアダプターを使用しないでください。
8cmCDは、アダプターなしで再生できます。

CDを取り出すには

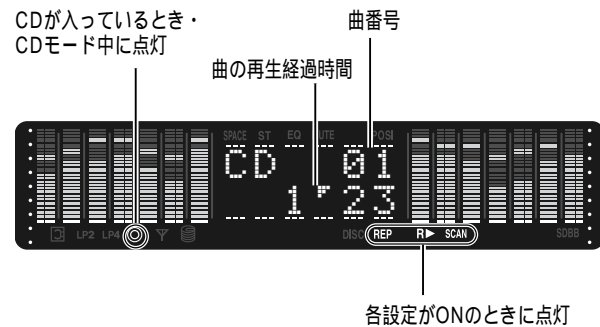
本体の を押す

1 を押して、
CDモードにする

再生が始まります。
「NO DISC」と表示されたときは...
ディスクを入れてください。

2 を押して、
曲を選ぶ

早送り/早戻しするには
0.5秒以上押し続ける
押し続けている間、早送り/早戻しされます。



お知らせ

本機は、MP3に対応していません。
CDテキストは、表示できません。
CD-R/RWは、使用したライティングソフトやドライブ、
またはその組み合わせによっては正常に再生されなかったり、
正しく表示されない場合があります。

お願い

「ディスクの取り扱いについて」(P.32ページ)を
よくお読みください。

特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない
シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCD (特に市販のプリンター
で作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RW) は使用しない

いろいろな聞きかた

順不同に聞く
(ランダム)

本体のみ

を押す
(再度押すと、解除)

DISC REP R▶ SCAN

曲を探す
(スキャン)

本体のみ

全ての曲を
約10秒ずつ再生する

を押す
(再度押すと、解除)

DISC REP R▶ SCAN

一周すると...
もとの曲の先頭に戻ります。

繰り返し聞く
(リピート)

本体のみ

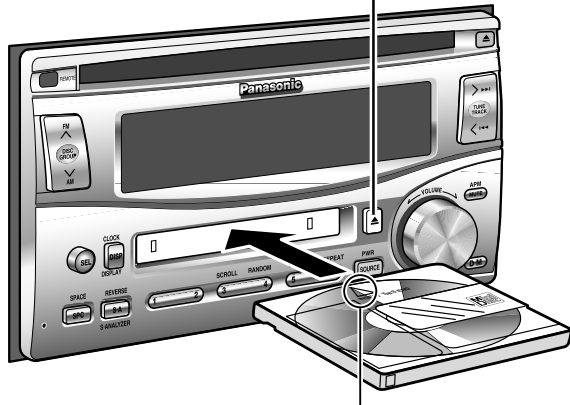
を押す
(再度押すと、解除)

DISC REP R▶ SCAN

MDを聞く

MDを入ると再生が始まります。

MDが入っていないことを確かめてから、入れてください。
CDの挿入口に、MDを入れないでください。



矢印の向きで (タイトル面を上)

MDが入っているとき・MDモード中に点灯



各曲の録音モード
LP2 : 2倍長録音
LP4 : 4倍長録音
消灯時 : 標準録音 (ステレオ/モノラル)

各設定がONのときに点灯
*絶対曲番号
ディスク内全てに対する曲番号が表示されます。
相対曲番号 (再生中のグループ内に対する曲番号) は表示されません。

MDを取り出すには

本体の を押す

1 を押して、MDモードにする

再生が始まります。

「NO DISC」と表示されたときは...ディスクを入れてください。

2 を押して、曲を選ぶ

早送り/早戻しするには
0.5秒以上押し続ける

押ししている間、早送り/早戻しされます。

お知らせ

録音モードが混在しているディスクも再生できます。
MDLPモードは標準モードと比較して、音質に若干の変化があります。あらかじめご了承ください。
100以降のグループは、グループとして認識されません。(グループ選択やグループ名表示ができません。)

聞きたい曲 (グループ) をスピーディに選ぶには

MDLPで多くの曲が録音されているディスクでも、聞きたい曲が簡単に探せます。アルバム/アーティスト/ジャンルごとなどにグループ録音されている場合には、グループを選んで再生できます。



を押して、曲 (グループ) を選ぶ

押し続けている間、連続して切り替わります。

グループ録音されている場合
グループ単位でスキップして頭出しする
グループ録音されていない場合
10曲スキップして頭出しする
ディスク内の総曲数 (最終曲・先頭曲) を超えたときは、1曲目から再生されます。

再生中の曲がどのグループにも属していない場合には、先頭グループの1曲目 (先頭曲) から再生が始まります。

グループ管理情報について

グループ機能を搭載していない録音機でも、ディスク名の記録領域へ一定の法則に従ってグループ管理情報を入力することにより、グループ登録できます。(最大99グループまで) グループ機能未対応の機器で再生した場合には、文字列がそのままディスク名として表示されます。グループ管理情報が正しいフォーマットで記述できていない場合には、思いどおりにグループ化されなかったり、グループ機能が使えないことがあります。

グループ管理情報 (文字列) の例
0 ; My_BEST//1-5 ; Pops//6-9 ; Rock//...

①「0 ;」で、ディスク名を認識
②③「数字 - 数字 ;」で、グループの先頭曲 - 最終曲を認識
グループごとの区別、および最後のグループの末尾には、必ず「//」を付ける。

お知らせ

本機ではグループ登録できません。グループの編集 (曲の追加・削除・移動など) を行った場合には、グループ機能が正しく動作しなかったり、使えないことがあります。グループ登録しなおしてください。

いろいろな聞きかた

順不同に聞く (ランダム) 本体のみ	全ての曲	4 を押す (再度押すと、解除)	
	再生中のグループ	4 を2秒以上押す (再度2秒以上押すと、解除)	
曲を探す (スキャン) (スキャン) 全ての曲を、約10秒ずつ再生する 本体のみ		5 を押す (再度押すと、解除)	 一周すると... もとの曲の先頭に戻ります。
繰り返し聞く (リピート) 本体のみ	再生中の曲	6 を押す (再度押すと、解除)	
	再生中のグループ	6 を2秒以上押す (再度2秒以上押すと、解除)	

お知らせ グループランダム / グループリピートは、グループ登録されているMDに限り有効な機能です。

タイトル情報を表示させるには



を押して、表示を切り替える (12ページ)

タイトルをスクロールさせるには

本体の を押す (再度押すと、解除)

お知らせ

スクロールOFFのときに、表示切替 / ソース切替 / ディスク交換をすると、末尾まで一周スクロールしたあと、最初の6文字までを表示して停止します。
タイトル表示については、13ページをご覧ください。

チェンジャーでCD/MDを聞く



準備 CDチェンジャーやMDチェンジャーを接続してください。(P.42ページ)

1 **PWR SOURCE** を押して、**チェンジャー (CH) モードにする**

再生が始まります。

「NO MAG」と表示されたときは...
マガジンを入れてください。

「NO DISC」と表示されたときは...
ディスクを入れてください。

2 **FM DISC GROUP** を押して、**ディスクを選び**

3 **TUNE TRACK** を押して、**曲を選ぶ**

早送り/早戻しするには
0.5秒以上押し続ける
押し続けている間、早送り/早戻しされます。



CH (チェンジャー) モード中に点灯

各設定がONのときに点灯

お知らせ

CDチェンジャー : CD-Rは機種により使用できないものがあります。CD-RWは使用できません。MP3には、対応していません。
MDチェンジャー : MDLPには対応していません。(無音で再生されます)

ディスクの取り扱いについては、32~33ページをお読みください。

いろいろな聞きかた

順不同に聞く (ランダム) 本体のみ	全ての曲	RANDOM 4 を押す (再度押すと、解除)	DISC REP R▶ SCAN
	再生中のディスク	RANDOM 4 を2秒以上押す (再度2秒以上押すと、解除)	DISC REP R▶ SCAN
曲を探す (スキャン) 約10秒ずつ再生する 本体のみ	全ての曲	SCAN 5 を押す (再度押すと、解除)	DISC REP R▶ SCAN 一周すると... もとの曲の先頭に戻ります。
	ディスクの1曲目	SCAN 5 を2秒以上押す (再度2秒以上押すと、解除)	DISC SCAN 一周すると... もとのディスクの先頭に戻ります。
繰り返し聞く (リピート) 本体のみ	再生中の曲	REPEAT 6 を押す (再度押すと、解除)	DISC REP R▶ SCAN
	再生中のディスク	REPEAT 6 を2秒以上押す (再度2秒以上押すと、解除)	DISC REP

MDのタイトル情報を表示させるには **タイトルをスクロールさせるには**

CLOCK DISP を押して、
表示を切り替える (P.12ページ)

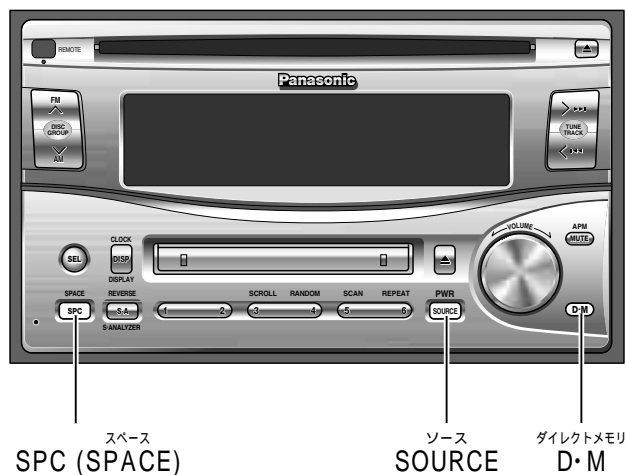
本体の **SCROLL 3** を押す (再度押すと、解除)

お知らせ

スクロールOFFのときに、表示切替 / ソース切替 / ディスク交換をすると、末尾まで一周スクロールしたあと、最初の6文字までを表示して停止します。
タイトル表示については、13ページをご覧ください。

CDチェンジャーは、
タイトル (CDテキスト) を
表示できません。

音場設定・便利な機能



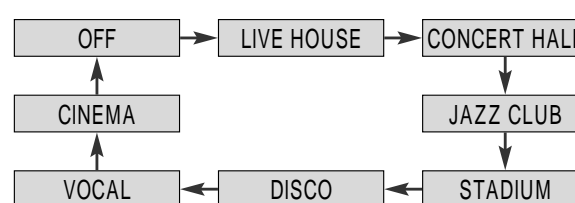
音場を設定する (スペース)

実際に演奏会場にいるような音場 (スペース) を車室内に再現できます。

初期設定：OFF
設定範囲：7種類 + 「OFF」

モード (AM、FM、CD、MD、CH、AUX) ごとに設定できます。

SPACE SPC を押して、切り替える



例)
SPACE
LIVE H

OFF以外に設定すると、「SPACE」インジケータが点灯します。

交通情報などを ボタン一つで受信する (ダイレクトメモリ)

電源が切れているときでも、どのモードからでも、交通情報を受信できます。また、好きな放送局を記憶させることもできます。

初期設定：AM 1620 kHz

本体のみ

本体の D-M を押す (再度押すと、解除) 記憶されている放送局を受信します。

D-M
1620

お知らせ

D・Mモード中は
SPACE (音場設定) が無効になります。
音質調整などができません。

放送局を記憶させるには...
TUNERモードで周波数を選び (※14ページ)
本体の D-M を2秒以上押す

D-M
MEMORY

例)
FM1
76.1

上書きして、放送局が記憶されます。

外部機器の音声を聞く (AUX)

外部音声入力端子 (AUX-IN) に、テレビの音声などを接続してください。(※41ページ)

準備

PWR SOURCE を押して、
AUXモードにする

操作のしかたは、
接続した機器の取扱説明書をご覧ください。



音場設定・便利な機能



スペクトラムアナライザ
S・A (S・ANALYZER)
リバー
S-A
REVERSE

スペアナ表示を切り替える (スペアナパターン)

好みのパターンを選ぶことができます。

初期設定：デモンストレーション
(12ページ)

設定範囲：15種類
(「BLANK SPEANA」,
「ALL DISP OFF」を含む)

スペアナ表示をアレンジする (スペアナリバー)

選択したスペアナパターンに対して、さらに表示の向きや、ネガとポジを反転させることができます。
(「BLANK SPEANA」, 「ALL DISP OFF」を除く13種類)

初期設定：NORMAL・POSI

本体のみ

REVERSE
S-A を押して、切り替える
S-ANALYZER

以下のようなパターンもあります。

BLANK SPEANA (ブランクスペアナ)
スペアナ部の表示だけを消灯する

ALL DISP OFF (消灯)

ディスプレイ全体の表示を消灯する

操作をすると点灯し、約5秒後に再び消灯します。

例)



お知らせ

スペアナ部は二分割されています。
左右別々(Lチャンネル・Rチャンネル)
の表示ではありません。

1 本体の S-A を2秒以上押して、
S-ANALYZER
スペアナリバーモードになります。

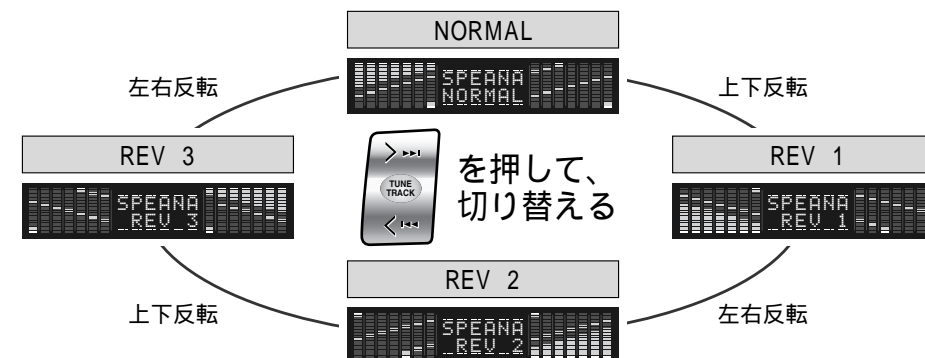


お知らせ

約10秒間何も操作をしないと...
通常モードに戻ります。

ドットスペアナ(文字部の表示)は、
表示パターンの切り替えやアレンジ
ができません。

2 スペアナ表示をお好みにアレンジする
向きを反転させる



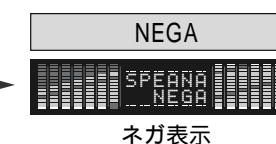
ネガとポジを反転させる



を押して、
切り替える



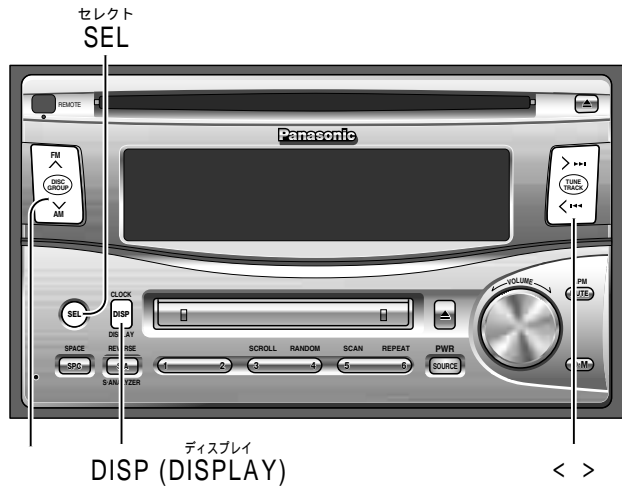
ポジ表示



ネガ表示

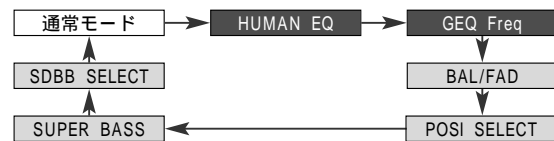
いろいろな設定と調整

音質調整



1 項目を選び、

SEL を押して項目を選ぶ。



2 調整する

TUNE TRACK で選択する。

ヒューマンイコライザー、グラフィックイコライザーは、**TUNE TRACK**、**DISC GROUP** で調整する。

調整を続けるときは...

再度 **SEL** を押して、項目を選んでください。

お知らせ

各項目が表示されている間(約10秒間)に操作をしないと... 通常モードに戻ります。

途中でやめる(通常モードに戻す)には...

CLOCK、**DISP** を押す
DISP DISPLAY

音楽や気分にあった音質に調整する

(ヒューマンイコライザー)

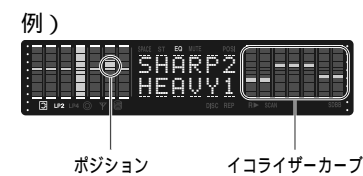
複雑な調整をしなくても、パターンを選ぶだけで音質を調整できます。

初期設定：FLAT (すべて0)
調整範囲：各0~3 (49パターン)

HUMAN EQ
を選び

横軸方向：SHARP / SOFT
(高音域の明かさ)

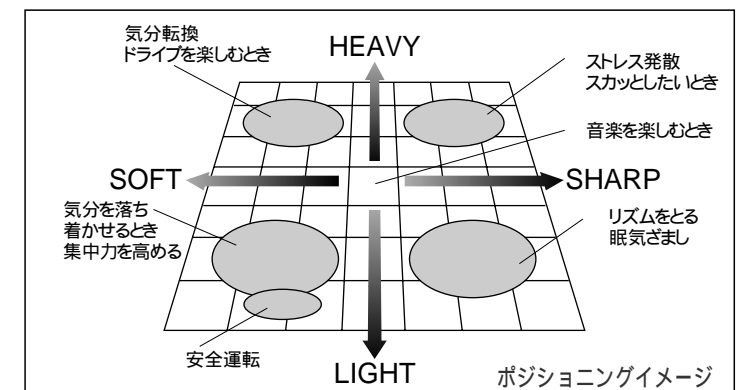
TUNE TRACK SHARP：歯切れよくなる
SOFT：柔らかくなる



選択されているパターンのポジションが点滅します。
調整すると「EQ」インジケータが点灯します。

縦軸方向：HEAVY / LIGHT
(低音域の豊かさ)

DISC GROUP HEAVY：豊かになる
LIGHT：軽快になる



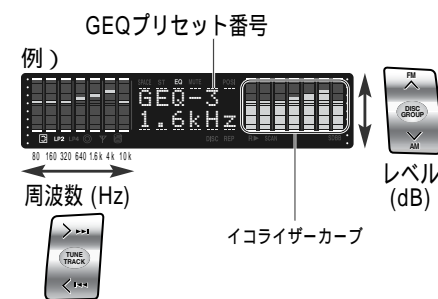
周波数帯域ごとにレベルを調整する

(グラフィックイコライザー)

各周波数帯域(7バンド)のレベルを調整し、6種類まで記憶させることができます。

初期設定：FLAT (すべて0 dB)
調整範囲：-12 ~ +12 (dB) / 2 dBごと

GEQ Freq
を選び



選択されている周波数のバンドが点滅します。
調整すると「EQ」インジケータが点灯します。

記憶させるには (GEQプリセットメモリ)

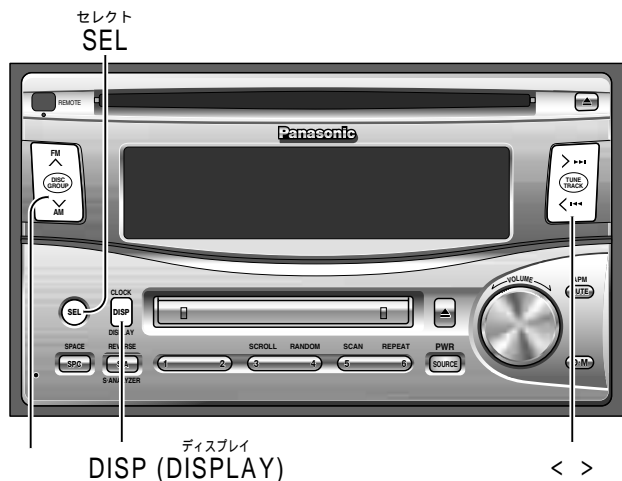
周波数バンドごとにレベルを調整し、
本体の **REPEAT** (1 ~ 6) を2秒以上押す
(プリセットボタン)

記憶されると、プリセット番号が一回点滅します。

呼び出すには
GRAPHIC-EQ表示のときに
本体の **REPEAT** (1 ~ 6) を押す
(プリセットボタン)

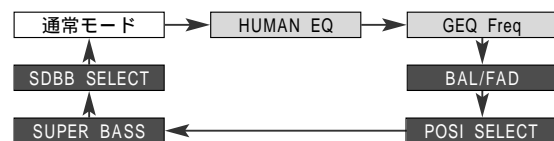
お知らせ

記憶されたレベルは、操作をするたびに更新されます。



1 項目を選び、

SEL を押して項目を選ぶ。



2 調整する

TUNE TRACK で選択する。

バランス/フェーダーは、**TUNE TRACK** と **DISC GROUP** で調整する。

調整を続けるときは...

再度 **SEL** を押して、項目を選んでください。

お知らせ

各項目が表示されている間(約10秒間)に操作をしないと... 通常モードに戻ります。

途中でやめる(通常モードに戻す)には...

CLOCK **DISP** を押す
DISPLAY

左右前後のスピーカーの音量バランスを調整する (バランス/フェーダー)

初期設定：CNT (センター)
調整範囲：各15ステップ

BAL/FAD

を選び

B (BALANCE) バランス調整



R (RIGHT) : 右側を強調
L (LEFT) : 左側を強調

F (FADER) フェーダー調整



F (FRONT) : 前方を強調
R (REAR) : 後方を強調

例)

B:R 2
F:R 1

調整している方を指し示す

乗車位置に合わせて音像を調整する (シートポジション)

初期設定：OFF

POSI SELECT

を選び

OFF

：全席

RIGHT

：前席・右

LEFT

：前席・左

FRONT

：前席

REAR

：後席

例)

POSI
FRONT

OFF以外に設定すると、「POSI」インジケータが点灯します。

低音の厚みを調整する (スーパーベースコントロール・サブウーファー)

高音域をカットすることで、リアスピーカーをサブウーファーとして活用できます。

初期設定：OFF

外部アンプ (別売) に内蔵されているカットオフ周波数調整機能を使用する場合は... 本機の設定を「FLAT」にしてください。

SUPER BASS

を選び

通常の出力のまま [ステレオ]

OFF

例)

SBC-SW
100Hz

サブウーファー用 (低音域のみ) の出力 [モノラル]

リアスピーカーの出力に対する設定 (BAL/FAD・POSI・SDBB・SPACE) が、無効になります。カットオフ周波数を選んでください。プリアウト (リア) の出力にも連動します。

FLAT

100Hz

150Hz

200Hz

(カットしない)

低音域を増強する (スーパーダイナミックブースト)

内蔵アンプに接続した4スピーカーから出力される低音を増強して、重低音が楽しめます。

初期設定：OFF

SDBB SELECT

を選び

OFF

：低音域を増強しない通常の出力

TYPE 1

：可変・弱 [AUTO]

TYPE 3

：固定・弱

TYPE 2

：可変・強 [AUTO]

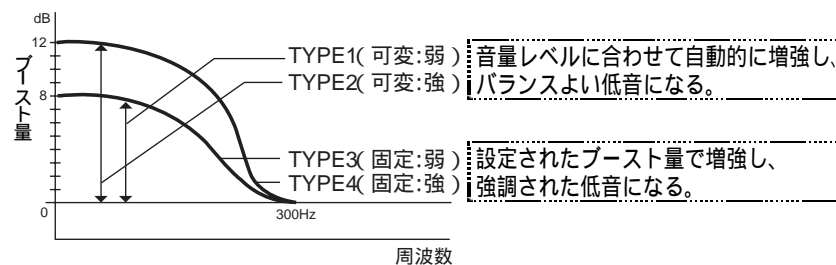
TYPE 4

：固定・強

例)

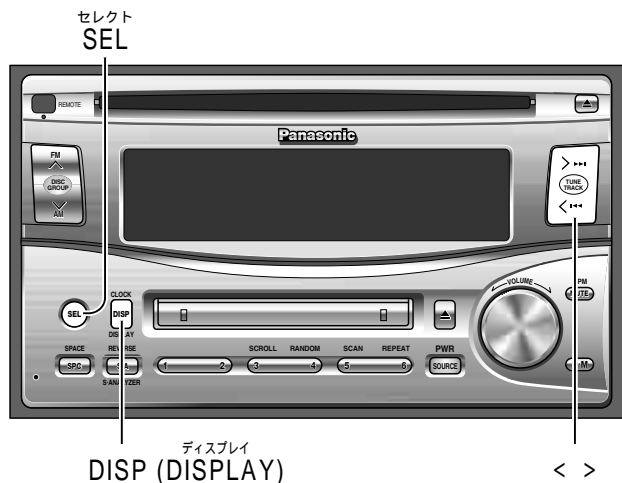
SDBB
TYPE 4

OFF以外に設定すると、「SDBB」インジケータが点灯します。

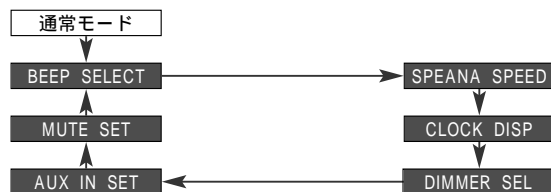


音量レベルに合わせて自動的に増強し、バランスよい低音になる。

設定されたブースト量で増強し、強調された低音になる。



- 1 項目を選び、**
- ① **SEL** を2秒以上押し、
 - ② 再度 **SEL** を押して項目を選ぶ。



- 2 設定する**
- で選択する。

お知らせ
 各項目が表示されている間(約10秒間)に操作をしないと... 通常モードに戻ります。
 途中でやめる(通常モードに戻す)には...
 を押す
CLOCK DISPLAY

調整を続けるときは...
 再度 **SEL** を押して、項目を選んでください。

その他の設定

操作音のON/OFFを選ぶ
 (ピープ音設定)
 初期設定 : ON

BEEP SELECT
 を選ぶ

ON : ボタンを押したときに、音を出す
OFF : ボタンを押したときに、音を出さない
 例) **BEEP ON**
 ピープ音はフロントスピーカーから出ます。リアスピーカー、およびプリアウトからは出ません。

スぺアナの動きの速さを選ぶ
 (スぺアナスピード設定)
 初期設定 : FAST

SPEANA SPEED
 を選ぶ

FAST : 動きが速くなる
SLOW : 動きが遅くなる
 例) **SPEANA FAST**

時計表示のパターンを選ぶ
 (クロックパターン設定)
 初期設定 : NORMAL

CLOCK DISP
 を選ぶ

NORMAL : 時計だけを表示する
MODE : 現在再生中のソースと時計を表示する
SPEANA : ドットスぺアナ (6バンドのスぺアナのような表示) と時計を表示する
 例) **CLOCK NORMAL**

表示の明るさを選ぶ
 (ディマー設定)
 車のスモールランプと連動します。
 初期設定 : 点灯時... MID、消灯時... HIGH

DIMMER SEL
 を選ぶ

HIGH : 明るくなる
MID : 中間の明るさになる
LOW : 暗くなる
 リモコンは、通常モードで を2秒以上押しと、**DIMMER** 切り替わります。
 例) **DIMMER HIGH**

外部音声入力のON/OFFを選ぶ
 (AUX設定)
 初期設定 : ON

AUX IN SET
 を選ぶ

ON : 使用する
OFF : 使用しない (AUXモードをスキップする)
 例) **AUX IN ON**

MUTEボタンを押したときの音量の上がりかたを選ぶ
 (ミュート/アッテネータ設定)
 初期設定 : MUTE KEY

MUTE SET
 を選ぶ

MUTE KEY : 0 になる (消音)
ATT KEY : 10ステップ下がる (約1/10)
 例) **MUTE KEY**

使いかた

ディスクの取り扱いについて / お手入れのしかた

CD (コンパクトディスク)



のマークがついているものを、ご使用ください。

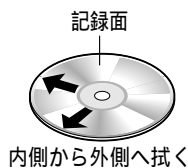
持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分をもちます。



CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



記録面
内側から外側へ拭く

お知らせ

データを読み取って再生が始まるまでに、時間がかかる場合があります。(読み取り中は「TOC READ」と表示されます。)

取り扱いのお願い

CDそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない
- CDが回転する方向に拭かない
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない
- CDを曲げない、キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない

CD-R/RWディスクのご使用について

再生可能なCD-R/RWディスクは、通常の音楽CDの形式(CD-DA)で記録したディスクに限ります。

- CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。
- CD-DA以外のデータ(ビデオCDやMP3など)は、再生できません。

⚠ 注意

特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない



禁止

特殊形状(ハート型・八角形・カード型など)のCDや、プロテクトフィルム・スタビライザーなどのCDアクセサリを使用すると、故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCDは使用しない



禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に、市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RWは、使用しないでください。

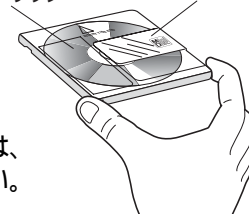
コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽CDが発売されています。これは、現状CD規格に合致しないディスクであり、本機での再生は保証致しかねます。通常のCDを用いた再生には支障がなく、コピーコントロールCDを用いた再生にのみ支障がある場合は、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせください。

MD (ミニディスク)

録音済みの音楽用MDをご使用ください。

カートリッジ シャッター



MDが汚れたら

カートリッジの表面に汚れやゴミがついたときは、乾いた布で拭いてください。

シャッターに手・指を触れないでください。再生後、高温になることがあります。

お知らせ

データを読み取って再生が始まるまでに、若干時間がかかる場合があります。(読み取り中は「TOC READ」と表示されます。)

取り扱いのお願い

MDそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- シャッターを開けない
無理に開けると破損することがあります。
中の円盤には、直接手を触れないでください。
- 指定外の場所にラベルを貼らない
- ラベルのはがれかかったMDは使用しない
本機の中で引っかかるなど、故障の原因になります。
- CDの挿入口に、MDを入れない
- MDの方向と表裏を確認して挿入する
無理に入れると、故障の原因になります。

ディスク (CD, MD) の保管について

長時間使用しないときは

必ず本機から取り出してください。
ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ(車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のあるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

著作権について

音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権者の許諾を得ないでディスクに複製(録音)、配布、配信することは、著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。

本機のお手入れについて

本機が汚れたときは

電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

必要なときに

故障かな!?

症状	原因・処置	ページ
電源・共通		
電源が入らない	車のエンジンをかけてください。(「ACC ON」でも可) 各コードの接続を確かめてください。 本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」 (別紙)にヒューズの交換を依頼してください。	12 40~42 -
音が出ない	音量を上げてください。 ミュートが「ON」になっている。「OFF」にしてください。 結露している。しばらく放置してからご使用ください。 各コードの接続を確かめてください。	12 13 37 40~42
音量の調整ができない	チェンジャーや外部機器の音声が入りアウト(フロントまたはリア)に接続されている。 各コードの接続を確かめてください。	40~42
音声のみで、表示が出ない	スペアナ表示を消灯する設定になっている。 他の表示に切り替えてください。	24
雑音が出る	携帯電話などを本機から離してください。	8
音質・ユーザー設定		
前後左右の何れかの音が出ない	BAL/FADで、前後左右のバランスを調整してください。 各コードの接続を確かめてください。	28 40~42
ステレオのとき、左右の音が逆になる	スピーカーコードの接続を確かめてください。	41
リアスピーカー、プリアウトから低音・モノラル音声しか出ない	サブウーファー用(低音域のみ)の出力に設定されている。 設定を「OFF」に切り替えてください。	28
リモコン(別売)		
ボタンを押しても動作しない	⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れてください。 電池が消耗している。交換してください。 リモコン受光部に向けて操作してください。	9 9 10

症状	原因・処置	ページ
ラジオ		
FMステレオ放送、モノラル放送とも、ノイズが多い	ラジオアンテナが十分に伸びているかを確かめてください。 オートアンテナコントロールコードの接続を確かめてください。 放送局の電波が弱い。 放送局を変えてください。	- 40 14
CD / MD		
ディスクを入れても音が出ない(再生できない)	ディスクを正しい面と向きで入れなおしてください。 音楽用の(録音されている)ディスクを使用してください。 CD-R/RWは、使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正しく再生されない場合があります。	16, 18 32~33 16
音質が悪い(音がとぶ)	ディスクの汚れをクリーニングしてください。 本機の取り付けを確かめてください。 角度を30°以内に調整し、振動ないようにしっかり取り付けてください。	32~33 38
CDを入れても音が出ない(再生経過時間は表示されている)	本機では、MP3ファイルを再生できません。 ミックスモードのディスクの第1トラックを再生した。 (ミックスモードとは、第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマットです。) 第2トラック以降の音楽データを再生してください。	32 -
MD再生時にグループ選択ができない、正しくグループ化されない	グループ登録されていない。 グループ管理情報が正しいフォーマットで記述されていないと、思ったとおりにグループ化されなかったり、グループ機能が使えない場合があります。 グループ機能を使って録音してください。グループ管理情報を入力してグループ登録した場合には、もう一度フォーマットを確かめてください。	18

故障かな!?

こんな表示が出たときは

表示

原因・処置

CD / MD

⊖ E 1 / PLS EJ
 □ E 1 / PLS EJ

E1 / E2エラーのとき
 ディスクが汚れている、裏返しになっている。
 ディスクが音楽用でない、録音されていない。
 ディスクにキズが付いている。
 ディスクを取り出し、確かめてください。

⊖ E 2 / PLS EJ
 □ E 2 / PLS EJ

E3エラーのとき
 何らかの動作エラー (メカエラー) が起きた。
 イジェクトボタンを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、またはACC電源を入れなおしてください。

⊖ E 3 / PLS EJ
 □ E 3 / PLS EJ

動作しない場合には、リセットスイッチを押してください。
 それでも正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。

CD NO / DISC
 MD NO / DISC

ディスクが入っていない。
 ディスクを入れてください。

CD / MDチェンジャー

CD・CH / -E 1 -
 MD・CH / -E 1 -

E1 / E2エラーのとき
 自動的に次のディスクへ切り替わります。
 ディスクが汚れている、裏返しになっている。
 ディスクが音楽用でない、録音されていない。
 ディスクにキズが付いている。
 ディスクを取り出し、確かめてください。

CD・CH / -E 2 -
 MD・CH / -E 2 -

E3エラーのとき
 何らかの動作エラー (メカエラー) が起きた。
 チェンジャーのイジェクトボタンを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、またはACC電源を入れなおしてください。

CD・CH / -E 3 -
 MD・CH / -E 3 -

動作しない場合には、チェンジャーのリセットスイッチを押してください。
 それでも正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。

CH NO / DISC

ディスクが入っていない。
 ディスクを入れてください。

CH NO / MAG

マガジンが入っていない。
 マガジンを入れてください。

上記の表示は、上段の文字 / 下段の文字 と書き表しております。

こんなときは故障ではありません

結露について

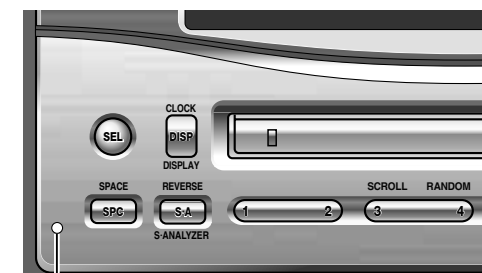
雨の日やヒーターを入れた直後に再生すると、本機内部(CDプレーヤー/MDプレーヤー)の光学系のレンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して1時間ほど放置し、自然に露がとれるのをお待ちください。

どのボタンを押しても動作しない場合には

折れにくい棒状のもので、リセットスイッチをまっすぐに押してください。

電源が切れて、出荷時の状態に戻ります。
 記憶されている内容は解除されますので、もう一度、設定・調整しなおしてください。

リセットしても正常に戻らない場合は
 お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」
 (別紙)に修理を依頼してください。



リセットスイッチ

万一、故障や異常が起こったら

すぐに電源を切ってください。
 煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。
 お客様による修理は、絶対におやめください。

配線・取り付けの前に

取り付けかた

警告

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

配線・取り付け部品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線関係

品名	個数
電源コード	1

取り付け関係

品名	個数
特殊座付きタッピンねじ (5 x 8 mm)	4
特殊皿型タッピンねじ (5 x 8 mm)	8

作業の順序

- ① バッテリーの⊖端子をはずす
- ② 配線する (40 ~ 42 ページ)
他の機器と接続する場合には、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- ③ 取り付ける (39 ページ)
- ④ バッテリーの⊖端子を、もとに戻す

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋をご使用ください。

注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



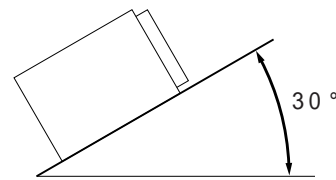
配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

取り付け部の寸法・角度の確認

車種 (ダッシュボードの形状や寸法) によって、取り付けられない場合やシフトレバー等に接触する場合があります。詳しくは、販売店に相談してください。

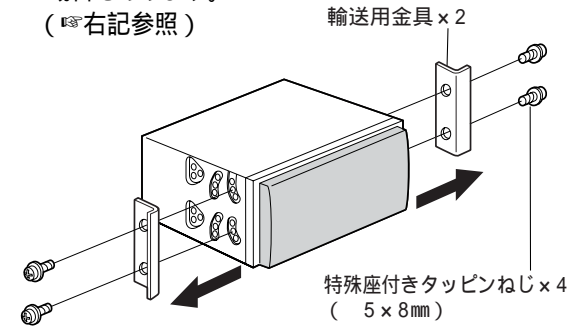
オーディオスペースが 2DIN サイズ (横 180 mm、縦 100 mm) でない場合には、販売店に相談してください。

水平に対して、30°以内の角度で取り付けてください。



輸送用金具をはずしてください

取りはずした4本のねじは、取り付けに使用する場合があります。(40 右記参照)



お願い

本機の実取り付け用の穴には、タップ加工がありません。必ず付属のタッピンねじをご使用になり、まっすぐ押しながら締めてください。

付属ねじは、取付金具 (ブラケット) の穴形状に合わせて選んでください。



特殊座付きタッピンねじ (4 本)

残りの 4 本は、輸送用金具を固定していたねじをご使用ください。

特殊皿型タッピンねじ (8 本)

使用する取付金具 (ブラケット) は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店に相談してください。

トヨタ車 (DIN サイズ採用車)

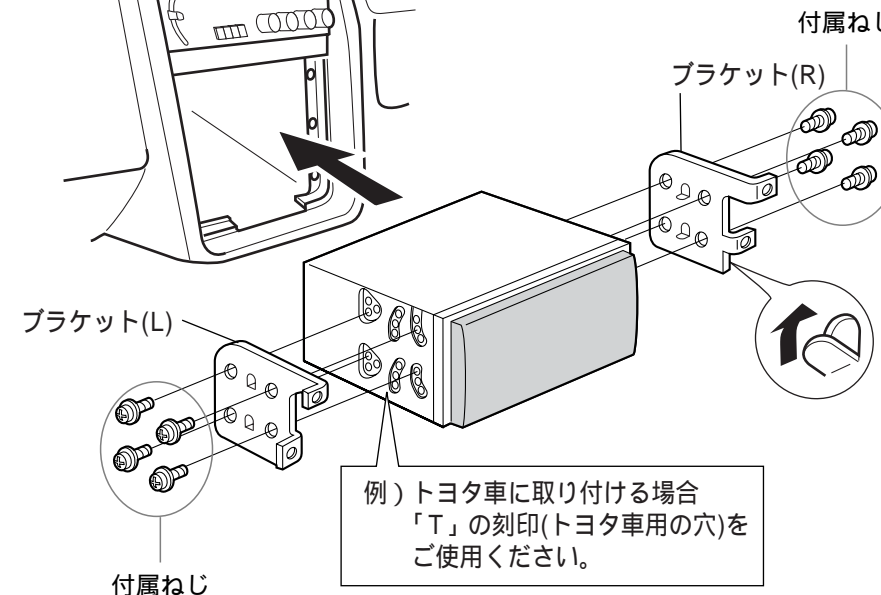
純正のカーステレオを固定していたブラケットをご使用ください。

日産・本田・三菱車 (DIN サイズ採用車)

別売の車両メーカー別標準取付キット、または車種別の取付キットをご使用ください。

上記メーカー以外の車

別売の専用取付キット、または汎用取付キットをご使用ください。



例) トヨタ車に取り付ける場合「T」の刻印 (トヨタ車用の穴) をご使用ください。

必要なときに

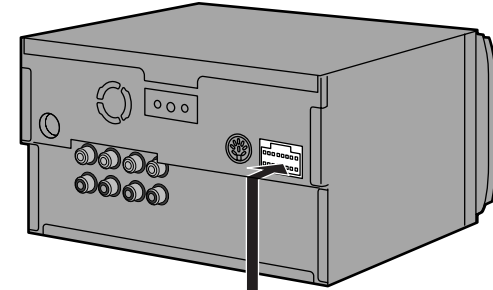
配線のしかた

基本配線（付属コードの接続）

ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。

お知らせ

別売のコネクター付コード（車両メーカー別）をご利用になると、車との配線がしやすくなります。詳しくは、販売店に相談してください。



電源コード

車のアンテナコントロールコードへ

直接オートアンテナを駆動させる電源に接続しないでください。

ANT-CONT MAX 0.1A
オートアンテナ
コントロールコード（青）

車のスモールランプと連動する電源へ

ILLUMINATION
イルミネーションコード（橙/白）

外部アンプのアンプコントロールコードへ

AMP-CONT MAX 0.1A
外部アンプ
コントロールコード（青/白）

車のACC電源へ

エンジンスイッチにACCポジションがない場合は、販売店に相談してください。

ACC電源用抵抗
ACC
アクセサリコード（赤）

車のバッテリーへ

常時電源が供給されている端子へ接続してください。

ヒューズ 10A
BATTERY 10A 10A
バッテリーコード（黄）

車体の金属部へ

アースコード（黒）

フロントスピーカーコード（左）

フロントスピーカーコード（右）

リアスピーカーコード（左）

リアスピーカーコード（右）

（白） ⊕
（白/黒） ⊖
（左）
フロント
スピーカーへ

（灰） ⊕
（灰/黒） ⊖
（右）
リア
スピーカーへ

（緑） ⊕
（緑/黒） ⊖
（左）
リア
スピーカーへ

（紫） ⊕
（紫/黒） ⊖
（右）

2スピーカーの場合は
使用しないスピーカーコードが
金属部に接触しないように、ビ
ニールテープ等で絶縁してくだ
さい。

後面端子部

排熱用ファン

周囲をふさがないように
取り付けてください。

ラジオアンテナ入力端子
ラジオアンテナを接続する

外部音声入力端子（AUX-IN）
外部機器（テレビなど）を接続する

端子の色区分

- ◎ 白.....音声（左）
- ◎ 赤.....音声（右）

チェンジャー入力端子
（CD/MD・C IN）
チェンジャーを接続する
（※42ページ）

電源コネクター
電源コードを接続する

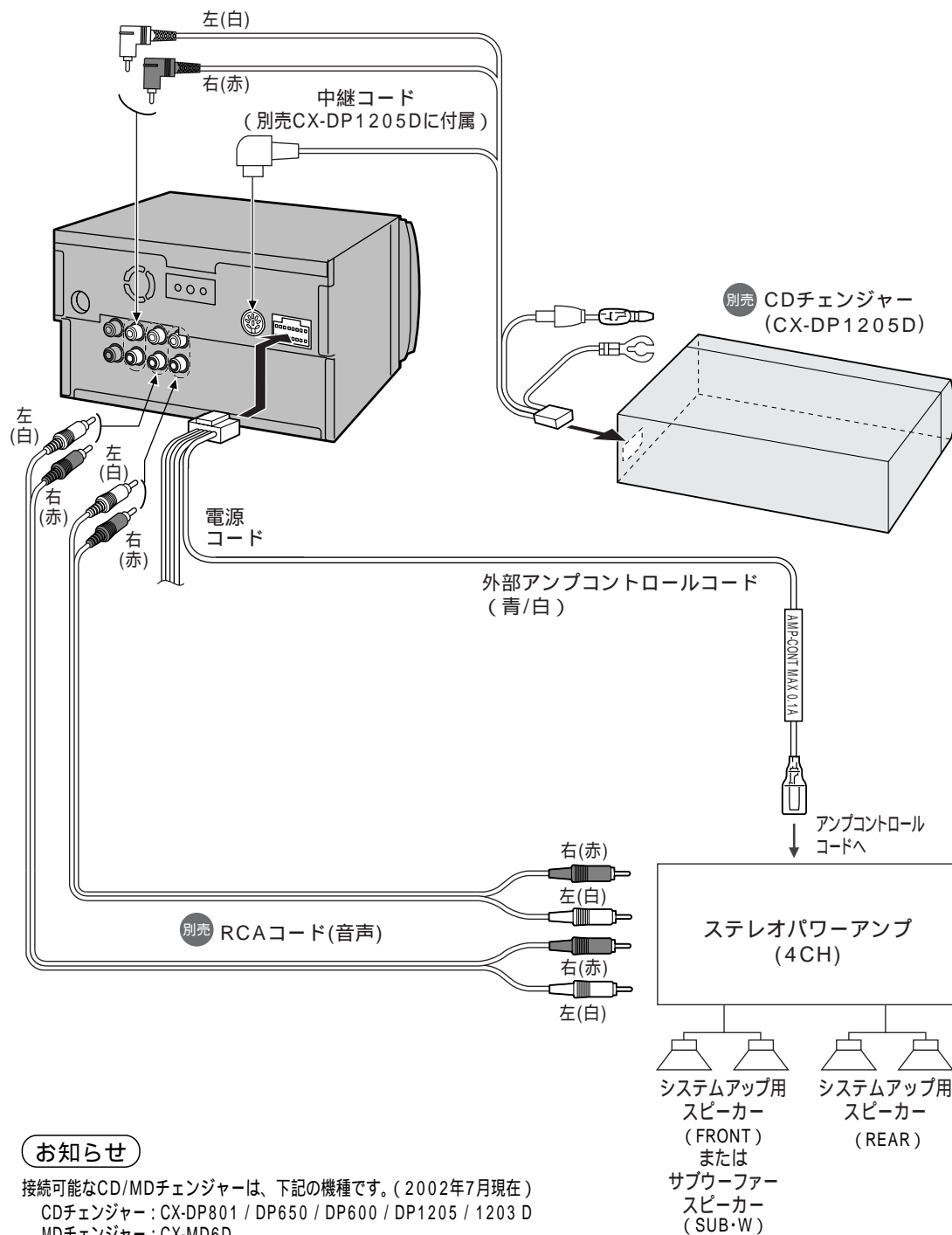
プリアウト端子（F：フロント）
外部アンプを接続する（※42ページ）

プリアウト端子（R：リア）
外部アンプを接続する（※42ページ）

チェンジャー、外部アンプを接続する

接続する各機器の取付説明書も、併せてご覧ください。

例) CDチェンジャー (CX-DP1205D)



お知らせ

接続可能なCD/MDチェンジャーは、下記の機種です。(2002年7月現在)
CDチェンジャー: CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205 / 1203 D
MDチェンジャー: CX-MD6D

共通部

電源電圧	: DC12 V (11 V - 16 V) ⊖アース (試験電圧14.4 V)
消費電流	: 8.5 A (CD動作定格出力時)
定格出力	: 16 W × 4 CH (1 kHz, 1%, 4)
最大出力	: 41 W × 4 CH
適合スピーカーインピーダンス	: 4
音声入力インピーダンス	: 10 k (AUX IN)
音声入力感度	: 2 Vrms (AUX IN)
プリアウト出力電圧	: 1.8 Vrms (CD)
プリアウト出力インピーダンス	: 600
外形寸法 / 質量	: 幅178 × 高さ100 × 奥行き160 (mm) / 2.2 kg

DSP部

チャンネル数	: 入力2チャンネル, 出力4チャンネル
スペースモード	: 7種類
イコライザー中心周波数	: 80、160、320、640、1.6k、4k、10k (Hz)
イコライザー可変範囲	: -12 dB ~ +12 dB (13段階)

FMチューナー部

受信周波数	: 76.0 MHz ~ 89.9 MHz
実用感度 (S/N 30 dB)	: 12 dBf
S/N比 (MONO)	: 60 dB
ステレオ分離度	: 35 dB
実効選択度 (±400 kHz)	: 75 dB

AMチューナー部

受信周波数	: 522 kHz ~ 1629 kHz
実用感度 (S/N 20 dB)	: 30 dB/μV
イメージ妨害比	: 65 dB

CDプレーヤー部

チャンネル数	: 2チャンネル
複号化	: 16ビット直線
周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 85 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下

MDプレーヤー部

周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 85 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

修理を依頼される時
「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。なおらないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

保証期間中は
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間
本製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

修理・お取り扱いなどのご相談は...
お買い上げの販売店 または
お近くの「ご相談窓口」（別紙）へ

その他のお問い合わせは...
「お客様相談センター」へ

お客様相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-50-8729** コーパナソニック

FAX **045-939-1939**

受付 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・弊社休日を除く)

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CQ-PY2002D/WD
販売店名	☎ ()	-	
お客様 ご相談窓口	☎ ()	-	

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 カーシステムビジネスユニット
〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地